

南アルプス市 平成 25 年度 事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料 作成日 H 26 年 3 月 23 日作成

事務事業名	社会福祉協議会ボランティア育成支援事業		所属部局	市民部		単位番号	4049			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市民活動センター		課長名	次長 大芝久			
			所属担当	市民活動センター		担当者名	芦沢 順子			
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	01	一般	02	01	08	030	07
施策	27	地域福祉の充実		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠	南アルプス市社会福祉協議会補助金交付要綱 市民活動センター条例、施行規則							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	社会福祉協議会が主催して実施し、ボランティア交流会、講習会の開催について補助する。(事業内容)		項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
	・福祉ボランティア活動、女性向け地域援け合いボランティア養成講座、夏休みボランティアスクール、災害ボランティア派遣、ボランティア交流会、花植え、ゴミ拾いボランティア養成講座など人材育成を目的としている。 ◎本事業は、平成26年度から社会福祉協議会の事業として行うため、平成25年度で終了。		負担金、補助及び交付金		533					
						計		533		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	福祉ボランティア養成講座・サロンボランティア学習、ボランティア交流会等の開催
25年度活動実績	社会福祉協議会の自主事業として行う。
26年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民、ボランティア団体等
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	各養成講座に参加し、活動に必要な知識を習得することにより、所属団体の活動が活発になる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	社会福祉協議会を中心に地域福祉活動を充実させ、自主活動の推進に結びつく。

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	養成講座	回数
	イ	学習会	回数
	ウ		
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	市人口	人
	イ	ボランティア団体	団体
	ウ		
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	参考になったと答えた参加者率	率
	イ	参加者数	人
	ウ		
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	福祉活動ボランティア参加者	人数
	イ		

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	530	586	533	0		
	事業費計(A)	千円	530	586	533	0	0	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	4	4	4	4		
		人件費計(B)	千円	18	18	18	18	0	0
	(A)+(B)	千円	548	604	551	18	0	0	
活動指標	ア	回数	28.0	28.0	28.0	28.0			
	イ	回数	0.0	0.0	0.0	0.0			
対象指標	ア	人	0.0	0.0	0.0	0.0			
	イ	団体	74,011.0	73,684.0	73,211.0	73,211.0			
	ウ		102.0	102.0	102.0	102.0			
成果指標	ア	率	250.0	250.0	250.0	250.0			
	イ	人	220.0	220.0	220.0	220.0			
上位成果指標	ア	人数	19,324.0	19,324.0	19,324.0	19,324.0			

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併後、市民活動センターの設置に伴い、社会福祉協議会のボランティア事業に対する補助金を市民活動センターに予算措置した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	市民の中にボランティア活動に対する理解が高まりを見せている。今後においても、ボランティアに対する関心度は高く予測される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	予算が市民活動センターに予算措置してあるが、社会福祉協議会に関する補助金は大部分が福祉課なので、当該補助金も福祉課に移行すべきである。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	ボランティアの人材育成については、行政では手が届かない決め細やかな対応や、養成講座等を行ってきたので、社会福祉協議会に補助金を交付して事業をお願いしてきた。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	社会福祉協議会と市民活動センターでは、ボランティアの支援で共通する部分があるので、話し合いをし、毎月1日発行の社協情報誌に「市民活動センターだより」のコーナーを設けて、相互に情報交換を行ってきた。

事務事業名	社会福祉協議会ボランティア育成支援事業	所属部	市民部	所属課	市民活動センター
-------	---------------------	-----	-----	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 ボランティア団体の支出向上は団体の活動推進のためには非常に重要であり、市民の自主的活動の推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 ボランティア団体の活動推進のために講座、研修会は必要でありそのために実施主体として社会福祉協議会の役割は必要。そのための必要経費であるが、内容については精査しなければならない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市からの補助はしないで、社会福祉協議会の自主事業として行っていく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 社会福祉協議会の独自の裁量で事業が出来る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ボランティア活動支援のために研修会、講座は必要。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 左に同じ
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金を廃止するので、コスト削減になる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 この事業補助金には、人件費は入っていないが講師謝礼はあるが削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 ボランティア団体の研修会・講座の開催が主であり、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	スクラップ&ビルド事業の一つとして、平成26年度から補助金を廃止し、社会福祉協議会の自主事業として行うこととなったが、今後も連携をとり、情報交換は定期的に行っていくことが必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 市からの補助金は廃止する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 社会福祉協議会も市民活動センターも、今後はボランティアの支援は、引き続き行っていくので、連携をとり情報交換を行っていく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					